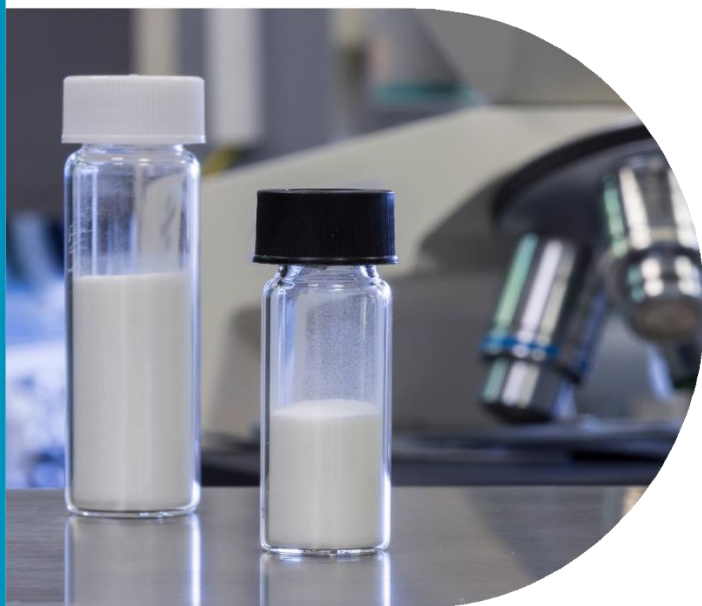


カルボプラチン. 写真提供: ヘレウス



医療前線の拡大

プラチナベースの医薬品 成分市場の成長

プラチナベースの医薬品有効成分市場の世界規模は、2028年までに370億ドルに拡大されると言われている。

プラチナベースの医薬品有効成分、例えば癌治療に使われるカルボプラチンは、癌細胞の異なる細胞周期にそれぞれ有効な他の治療薬と併用して使われる化合物である。

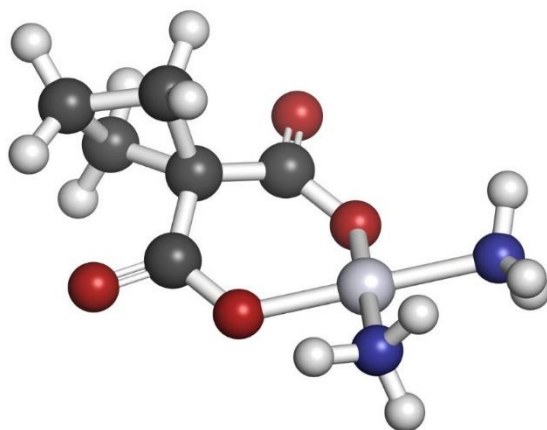
こういった医薬品有効成分は肺癌、直腸癌、子宮癌、精巣癌などに使うことができるが、高齢化や、また新興国で化学療法が行き渡るにつれて、癌治療に対するこのような医薬品の需要は高まっている。

さらに特定の癌細胞をターゲットとし、健康な細胞はほとんど無害なまま残ることからも、需要はますます増えるばかりだ。

その結果、現在の市場では医薬品有効成分の原料供給は限界に達しており、スムーズなサプライチェーンに頼る製薬業界だけでなく、健康保険システムにも影響が出ている。

こう言った状況を受け、プラチナベースの医薬品有効成分の生産拡大の動きが活発になっている。

例えば、貴金属製品とサービスの世界的大手である独ヘレウス社は、ハーナウにある同社の本拠地で新たに数百万ユーロ規模のプラチナベース医薬品生産ラインを稼働させるなど、需要増を受けてプラチナベースの医薬品有効成分生産を大幅に増やしている。



カルボプラチン分子

医療のプラチナ需要の成長

医療分野のプラチナ需要は、コロナ禍で新型コロナウイルス感染症患者の治療が最優先されて、癌治療などが減ったことで一時的に打撃を受けた。2019年に7.74トンあった医療のプラチナ需要は、2020年には4%減って7.43トンとなった。

しかし2021年は4%伸びて7.68トンとなり、ほぼコロナ禍以前のレベルに戻っている。

今年の医療のプラチナ需要は、プラチナベースの癌治療や、プラチナが使われている器具を用いる手術が増えることで、コロナ禍以前のレベルを上回って、昨年より3%増え（2019年レベルの2%増）7.9トンになると予測されている。



Contacts:

WPIC London

Brendan Clifford, Investor Development, bclifford@platinuminvestment.com

Trevor Raymond, Research, traymond@platinuminvestment.com

David Wilson, Research, dwilson@platinuminvestment.com

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Sophia Zeng, Japan Market Development Manager, szeng@platinuminvestment.com

DISCLAIMER: The World Platinum Investment Council is not authorized by any regulatory authority to give investment advice.

Nothing within this document is intended or should be construed as investment advice or offering to sell or advising to buy any securities or financial instruments and appropriate professional advice should always be sought before making any investment.

Images are for illustrative purposes only. More detailed information is available on the WPIC website:

<https://platinuminvestment.com/>